

高齢者実態調査等における削除を検討している設問について

本人調査

No.	カテゴリー	調査項目	設問	選択肢	令和４年度調査時担当課	削除理由
1	健康状態、健康に対する意識、日常生活の状況	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の生活への影響	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、あなたの生活にはどのような影響がありましたか。	1 仕事をやめた（仕事がなくなった） 2 仕事をする日数や時間数が減った 3 ボランティア活動ができなくなった 4 ボランティア活動をする日数や時間数が減った 5 旅行や買い物などで外出することが減った 6 友人・知人や近所付き合いが減った 7 別居している家族と会う機会が減った 8 家族と過ごす時間が増えた 9 医療を受ける回数（通院回数など）が減った 10 医療を受ける医療費の支出が増えた 11 介護サービスを受ける回数が減った 12 メール、電話など、情報通信機器での連絡が増えた 13 その他の影響 ※いい影響も含め具体的にご記入ください。 14 特に影響はない（特に影響はなかった）	今回、設問を必要とする課は無し。	コロナの感染の有無、または感染拡大によって生活にどんな影響があったかを問う設問であったが、前回調査が既にオミクロン株の流行時期であったため想定した回答が得られなかったため。
2	健康状態、健康に対する意識、日常生活の状況	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の生活への影響	あなたは、新型コロナウイルス感染症に感染した経験はありますか。	1 ある 2 ない 3 わからない 4 答えたくない		
3	健康状態、健康に対する意識、日常生活の状況	情報通信機器の利用状況	情報通信機器をお使いにならないのはなぜですか。	1 必要性を感じないから 2 使い方がわからず、面倒だから 3 興味はあるが購入場所、購入方法などがわからないから 4 使い方を覚えたいが、教えてくれる人がいないから 5 お金がかかるから 6 文字が見えにくいから 7 音声聞こえづらいから 8 指先が動きづらく操作しづらいから 9 その他	今回、設問を必要とする課は無し。	問7において、所有・利用している情報通信機器について質問しているが、令和４年度調査の回答では、所有していない方の割合は0.1%、何も利用していない方の割合は0.2%であることから、多くの方が何らかの情報通信機器を利用していると考えられるため。
4	地域生活支援	地域での見守り活動の認知度と必要性	孤立死を防ぐためには地域での見守りが必要です。支援を必要とする高齢者等を日常的に見守るための次の取組みのうち、あなたが知っている取組み、及び必要と思う取組みに○をつけてください。	1 緊急時にボタンを押すだけで自動的に通報され助けが来るサービス（例：大阪市緊急通報システム事業、民間の会社が行う見守りサービス） 2 健康相談に看護師などが24時間対応してくれるサービス 3 地域住民による友愛訪問、見守り訪問、声かけ活動などの高齢者の安否確認などの取組み 4 弁当の配食時に安否確認を行う取組み 5 集会所などで会食会を催し地域交流を深める取組み（例：ふれあい食事サービス、ふれあい喫茶、いきいきサロン） 6 身近な地域で行われている体操や運動等の通いの場 7 ごみの引き取り時に異常があれば緊急連絡先に通報するサービス 8 電気、ガス、水道料金の検針時や新聞・牛乳配達時等の安否確認 9 介護保険サービスなどの利用 10 健康づくりや介護予防に関する取組み 11 友人や知人とのつながり 12 近所の人と声を掛け合うこと		

No.	カテゴリー	調査項目	設問	選択肢	令和４年度調査時担当課	削除理由
5	地域生活支援	消費者被害の経験	あなたは、これまでに消費者被害にあったことや、あいそうになったことはありますか。	1 ある 2 ない	高齢福祉課	大阪市消費者センターが行っている民間ネット調査「消費生活に関する意識調査について」に類似質問があるため。
6	地域生活支援	老人福祉センターの利用状況	老人福祉センターについて、あなたの利用状況をお答えください。	1 利用している 2 利用していない	高齢福祉課（いきがい）	平成30年度の監査指摘を受け、老人福祉センターを利用されていない高齢者のニーズ把握を行うこととし、令和元年度及び令和４年度の計２回、調査を実施した。この２回の調査によってニーズを把握することができ、調査目的を果たせたと考えるため。 （利用状況の回答割合は、「２利用していない」が約90%。利用していない理由の回答割合は、「１サービス内容を知らない」が約41%）
			「２ 利用していない」と回答された方におうかがいします。 「利用していない」のはどのような理由からですか。	1 サービス内容を知らない 2 サービス内容に魅力がない 3 仕事・地域活動等が忙しい 4 施設が自宅から遠い 5 ひとりで施設に入りにくい 6 施設がどこにあるか知らない 7 その他		
7	高齢者施設全般	重点を置いてほしい高齢者施策	あなたは、高齢者のための施策としてどのような点に重点を置くべきだと考えますか。主なものに３つまで○をつけてください。	1 健康づくり・介護予防の充実 2 いきがいづくり 3 就労支援 4 介護保険サービス（居宅サービス）の充実 5 介護保険サービス（施設サービス）の充実 6 介護保険外サービス（福祉サービスなど）の充実 7 認知症に関する施策の充実 8 在宅医療など地域での適正な医療提供体制の充実 9 虐待防止や本人の財産を守るなどの権利擁護 10 高齢者施策に関する情報の提供と相談 11 民生委員・町会などの地域の見守り、相談機能の充実 12 若い世代との交流を促進するしくみづくり 13 防災対策の充実 （災害時において避難支援等が必要な方（避難行動要支援者）の支援対策） 14 建物や公共交通機関のバリアフリー化の促進 15 公園や歩道、ベンチの設置など、安心して外出・休息できる場の整備 16 高齢者向け住宅や住宅改修助成の充実 17 その他 18 特にない	今回、設問を必要とする課は無し。	設問の主旨が不明で、計画策定にも反映し難い設問。 令和元年度調査、令和４年度調査ともに、１，２，４，８の選択肢を選んだ方が多く、傾向も把握できているため。

介護サービス利用者・未利用者調査

No.	カテゴリー	調査項目	設問	選択肢	令和４年度調査時担当課	削除理由
8	【利用者調査のみ】介護保険サービスの利用状況と利用に対する考え	新型コロナウイルス感染症拡大の影響による介護サービス利用の変化	新型コロナウイルス感染症拡大の影響で介護サービスの利用に変化はありましたか。	1 介護サービスの利用をやめたり、種類の変更や回数を減らすなどした 2 事業者や施設等の事情により、介護サービスが利用できなくなったり、利用できる回数が減った 3 特に介護サービスの利用に影響はなかった	今回、設問を必要とする課は無し。	コロナ禍の実態把握を目的として行っていた調査のため。
9	【利用者調査のみ】介護保険サービスの利用状況と利用に対する考え	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により利用をやめた、もしくは回数を減らした介護サービス	「1 介護サービスの利用をやめたり、種類の変更や回数を減らすなどした」「2 事業者や施設等の事情により、介護サービスが利用できなくなったり、利用できる回数が減った」と回答された方におうかがいします。 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により利用をやめた、もしくは、回数を減らした介護サービスの種類をお答えください。	1 訪問介護（ホームヘルプサービス） 2 訪問入浴介護 3 訪問看護 4 訪問リハビリテーション 5 通所介護（デイサービス） 6 通所リハビリテーション（デイケア） 7 夜間対応型訪問介護 8 ショートステイ 9 居宅療養管理指導 10 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 11 小規模多機能型居宅介護 12 看護小規模多機能型居宅介護	今回、設問を必要とする課は無し。	コロナ禍の実態把握を目的として行っていた調査のため。
10	【利用者調査のみ】介護保険サービスの利用状況と利用に対する考え	介護サービスの種類を変更したり、回数を減らしたことによる影響	「1 介護サービスの利用をやめたり、種類の変更や回数を減らすなどした」「2 事業者や施設等の事情により、介護サービスが利用できなくなったり、利用できる回数が減った」と回答された方におうかがいします。 介護保険サービス及び介護予防サービスの種類を変更したり、回数を減らしたことでどのような影響がありましたか。（〇はいくつでも）	1 会話することなど、人との関わりが減った 2 感染に対する不安が少なくなった 3 外出する機会が減り、家に閉じこもることが増えた 4 自宅でできる新たな趣味が増えた 5 精神的に不安定になった 6 できるだけ自分でやろうと前向きに考えるようになった 7 事業者以外の介護者（家族等）の負担が増えた 8 身体機能が低下した（筋力が落ちた、歩行しにくくなった、転倒しやすくなった） 9 食事の支度や掃除、洗濯、買い物などに困ようになった 10 影響は特にない 11 その他	今回、設問を必要とする課は無し。	コロナ禍の実態把握を目的として行っていた調査のため。
11	新型コロナウイルス感染症対策	新型コロナウイルス感染症対策の実施	新型コロナウイルス感染症に対する感染対策を行っていますか。	1 行っている 2 行っていない	今回、設問を必要とする課は無し。	コロナ禍の実態把握を目的として行っていた調査のため。
12	新型コロナウイルス感染症対策	行っている感染症対策	あなたが行っている感染対策はどのようなものですか。（〇はいくつでも）	1 人と話す時は間隔を空けている（2 m以上） 2 会話の際は真正面を避けている 3 大人数が集まる場所を避けている 4 こまめに手洗い・手指消毒をしている 5 こまめな換気を心掛けている 6 外食をする場合は、少人数・短時間を心掛けている 7 外食をする場合は、マスク会食をしている 8 その他	今回、設問を必要とする課は無し。	コロナ禍の実態把握を目的として行っていた調査のため。
13	新型コロナウイルス感染症対策	新型コロナウイルス感染症に感染した経験	あなたは、新型コロナウイルス感染症に感染した経験はありますか。	1 ある 2 ない 3 わからない 4 答えたくない	今回、設問を必要とする課は無し。	コロナ禍の実態把握を目的として行っていた調査のため。

介護者調査

No.	カテゴリー	調査項目	設問	選択肢	令和４年度調査時担当課	削除理由
14	介護離職に関する問題	相談窓口の利用状況	次の相談窓口等について、利用したことがありますか。(1)～(5)の相談窓口の利用状況について、あてはまる番号に○をつけてください。	(１) 区役所・保健福祉センター (２) 地域包括支援センター（総合相談窓口（ブランチ）を含む） (３) おおさか介護サービス相談センター (４) 国民健康保険団体連合会 (５) 認知症初期集中支援チーム（通称「オレンジチーム」） １ 相談したことがある ２ 知っているが、相談したことがない ３ 知らない	今回、設問を必要とする課は無し。	令和元年度調査、令和４年度調査ともに（利用者調査・未利用者調査どちらも）、（１）（２）の回答は選択肢２が、（３）（４）（５）の回答は選択肢３の回答が多く、傾向も把握できている。 また、設問を必要とする課がなく、計画策定や施策に反映していないため。
15	介護離職に関する問題	自宅での介護で困った時の相談先	相談窓口以外で、主な介護者が、自宅での介護を行ううえで困った時はどちらに相談していますか。（○はいくつでも）	１ 同居の家族 ２ 別居している家族や親族 ３ 友人・知人・近所の人 ４ 町会・自治会の役員など ５ 地域活動協議会や地域社会福祉協議会など、地域で見守り活動を行っている組織 ６ 民生委員 ７ 居宅介護支援事業者(ケアマネジャー) ８ かかりつけの医師・歯科医師・薬剤師 ９ 病院等医療機関の職員 １０ その他 １１ 特にない	今回、設問を必要とする課は無し。	令和元年度調査、令和４年度調査ともに（利用者調査・未利用者調査どちらも）、選択肢１，２，７，８の回答が多く、傾向も把握できている。 また、設問を必要とする課がなく、計画策定や施策に反映していないため。

介護支援専門員調査

No.	カテゴリー	調査項目	設問	選択肢	令和4年度調査時担当課	削除理由
16	担当している 利用者の状況	要介護度別利用者の割合	利用者の要介護度別の内訳人数をお答えください。 なお、新規・更新・区分変更中の方については「その他」に計上してください。	要支援1（ ）人 要支援2（ ）人 要介護1（ ）人 要介護2（ ）人 要介護3（ ）人 要介護4（ ）人 要介護5（ ）人 その他（ ）人	介護保険課	居宅介護支援事業者ごとの利用者数はシステムで確認できること、要介護度別の人数をクロス集計に用いていないこと、また、回答いただくことが煩雑であり、調査の負担を軽減するため。
17	サービス内容と課題	サービス担当者会議の開催にあたり困難と感じていること	サービス担当者会議の開催にあたり、困難と感じていることは何ですか。（○はいくつでも）	1 自分の日程調整 2 主治医との日程調整 3 サービス事業所との日程調整 4 利用者の出席 5 家族の出席 6 会場の確保 7 資料づくり 8 会議の進め方に不安があること 9 他の施策分野との連携 10 その他	今回、設問を必要とする課は無し。	令和元年度調査、令和4年度調査ともに、選択肢2，3，5の順に回答が多く、傾向も把握できている。 また、設問を必要とする課がなく、計画策定や施策に反映していないため。
18	居宅介護支援業務全般	業務を行ううえでの課題	介護支援専門員業務を行ううえで、課題として考えているのはどのようなことですか。（○はいくつでも）	1 介護保険サービス、大阪市の介護保険外サービスの種類が少ない 2 サービス事業所に関する情報が少ない 3 利用者及び家族がサービスの必要性を理解していない 4 忙しくて利用者の意見・要望を聞き調整する時間が十分とれない 5 多くの問題を抱えている利用者へのケアマネジメントの方法がわからない 6 認知症ケアの方法がわからない 7 医療機関等、他の施策分野との連携がうまくとれない 8 地域包括支援センターとの連携がうまくとれない 9 区や市との連携がうまくとれない 10 相談できる人が身近にいない 11 同じ経営母体のサービス事業所が提供するサービスに偏る 12 記録と書類の量が多く負担となっている 13 利用者に介護保険制度が十分理解されていない 14 介護保険サービスを組み込まないインフォーマルサービス等だけのケアプラン調整が介護報酬で評価されない 15 要介護認定結果がでるまでの「暫定ケアプラン」調整について、「要支援」の認定が出た際には介護報酬で評価されない 16 感染症対策 17 その他	今回、設問を必要とする課は無し。	令和元年度調査、令和4年度調査ともに、選択肢12の回答が群を抜いて多く、次に選択肢15，3，13の順に回答が多く、傾向も把握できている。 また、設問を必要とする課がなく、計画策定や施策に反映していないため。
19	介護保険制度	行政に対する期待	今後行政に期待する役割は何ですか。（○はいくつでも）	1 相談機能の充実 2 研修の充実 3 サービス基盤の充実 4 情報提供の充実 5 その他	介護保険課	介護保険制度についてのご意見、ご要望は多岐にわたり、別途自由に記入できる項目を設定しており、そこで具体的にご意見をいただいているため。

施設調査

No.	カテゴリー	調査項目	設問	選択肢	令和４年度調査時担当課	削除理由
20	感染症拡大防止対策	施設の感染予防・拡大防止のために必要な対策	貴施設で同時期（１人目の陽性者が発生してから10日以内）に他の陽性者が発生したことがありますか。	１．発生したことがある ２．発生したことはない	今回、設問を必要とする課は無し。	問８で新型コロナウイルス感染症をはじめとする感染予防・拡大防止対策について、内容を変えて設問しているため。
			≪「１．発生したことがある」とご回答いただいた施設におたずねします。≫ 同時期に複数の陽性者が発生した際にどのようなことについて、対応に苦慮されましたか。（あてはまるものすべてに○を付けてください。）	１．保健所や相談窓口との連絡 ２．感染した方の受け入れ先（病院・宿泊療養施設） ３．感染した方への往診等、医療の提供 ４．衛生用品（消毒液・個人防護具等）の確保 ５．感染した方の隔離 ６．感染した方に対するサービス提供体制の確保（職員確保） ７．その他		
21	手話等の対応	手話・点字・外国語等ができる施設職員の有無	施設職員について、該当する職員がいる場合は（ ）内に人数を記入し、いない場合は「７」に○をつけてください。（重複している場合は、該当する箇所すべてに含んでください。）	１．手話ができる職員がいる（ ）人 ２．点字が読める職員がいる（ ）人 ３．韓国・朝鮮語が話せる職員がいる（ ）人 ４．中国語が話せる職員がいる（ ）人 ５．英語が話せる職員がいる（ ）人 ６．上記以外の外国語が話せる職員がいる（ ）人（外国語の種類： ） ７．該当する職員はいない	介護保険課	外国人人材の受け入れ状況については、問10（３）において設問しており、手話・外国語等ができる施設職員の有無については、アンケート調査による傾向把握ではなく、必要に応じて全体的に別途把握した方がよいと考えるため。
22	個人情報保護	個人情報の管理状況	個人情報の管理について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。	１．管理規程等を定めている ２．管理責任者を設置している ３．職員研修を実施している ４．情報が漏洩した場合の対処マニュアルを定めている ５．特に何も行っていない ６．その他	介護保険課	個人情報の管理については、多くの事業者で管理規定等を定めるなど適切な管理が進んでいること、また、運営指導の際に実態を調査しているため。